

第39回全九州高等学校バスケットボール競技大会

公式ボックス・スコア

女子 決勝

試合日：平成21年2月15日(日)
 開始時刻：12:30
 会場：宮崎市総合体育館
 コート：Aコート
 試合順：第3試合

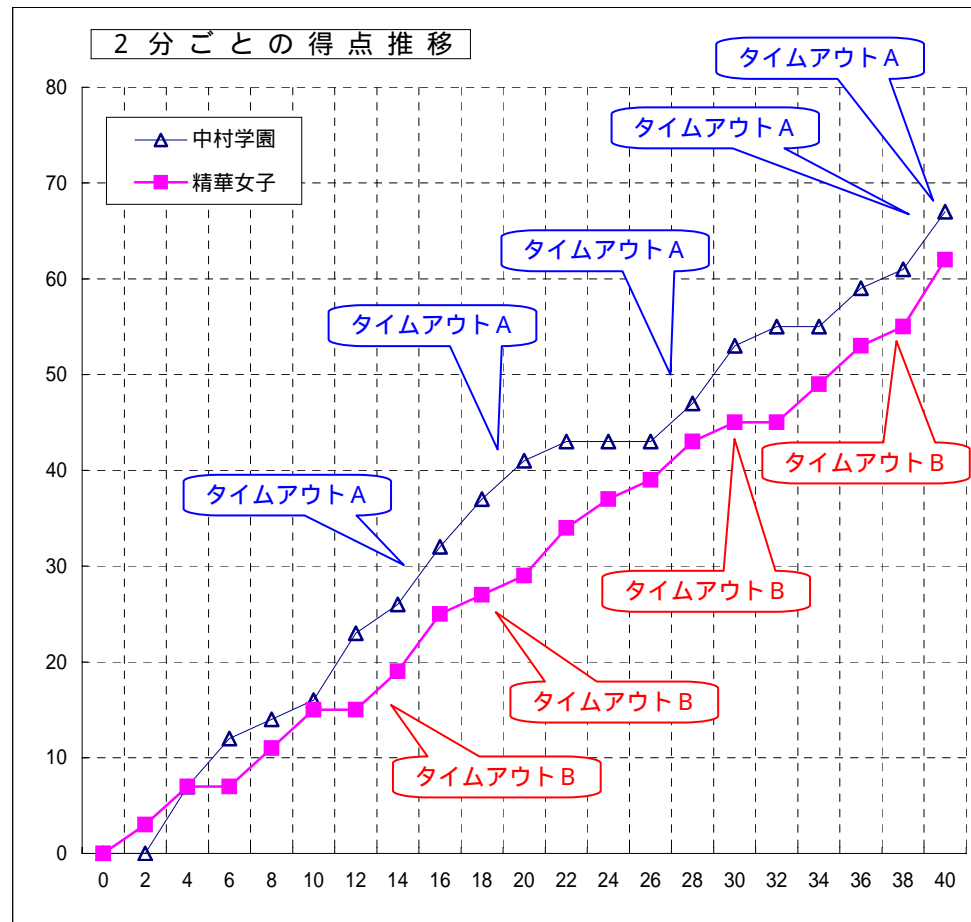
Team A		Team B
中村学園	67	62 精華女子
(福岡1位)		(福岡2位)

Team A 中村学園 (福岡1位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	川原 ゆい	19	1	8	8	18	0	1	1
5	倉永 あずさ	0	0	0	0	2	0	0	1
6	濱武 舞衣	0	0	0	0	0	0	0	0
7	瀬崎 理奈	16	2	2	3	6	4	4	3
8	木末 有紀恵	2	0	0	1	2	0	0	0
9	内田 美樹	3	0	0	1	4	1	0	0
10	打越 裕梨	14	0	0	7	12	0	0	1
11	菊地 伶奈	0	0	0	0	0	0	0	1
12	白根 菜里	0	0	0	0	0	0	0	0
13	竹ヶ原 麻衣	0	0	0	0	0	0	0	0
14	神崎 由香	9	0	0	3	5	3	4	1
15	橋詰 まり	4	0	0	1	4	2	4	4
16	西浦 千陽	0	0	0	0	0	0	0	0
17	森野 ありさ	0	0	0	0	0	0	0	0
18	中津留 千尋	0	0	0	0	0	0	0	0
吉村 明/TEAM									0
合計		67	3	10	24	53	10	13	12
RATE			30%	45.3%	76.9%				

Team B 精華女子 (福岡2位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	金原 彩姫	15	1	5	6	12	0	0	4
5	上妻 佐世	13	0	1	6	9	1	3	5
6	岡山 華織	14	2	5	4	9	0	0	4
7	大塚 夕姫	0	0	0	0	0	0	0	0
8	徳田 華名子	0	0	0	0	0	0	0	0
9	津野 彩華	14	0	3	7	16	0	0	2
10	中山 のぞみ	0	0	0	0	0	0	0	0
11	白垣 沙也花	0	0	0	0	0	0	0	0
12	榎本 玲奈	0	0	0	0	0	0	0	0
13	原 恵里佳	0	0	0	0	0	0	0	0
14	津田 史穂莉	6	0	0	2	6	2	4	4
15	林田 咲希	0	0	0	0	0	0	0	0
16	平山 楓子	0	0	0	0	0	0	0	0
17	岡崎 未菜	0	0	0	0	0	0	0	0
18	横山 夢佳	0	0	0	0	0	0	0	0
大上 晴司/TEAM									0
合計		62	3	14	25	52	3	7	19
RATE			21.4%	48.1%	42.9%				



【戦評】

福岡県予選決勝と同じ対戦となった決勝戦。第1ピリオド、両チームともにマンツーマンで試合スタート。精華女子#4金原の3Pで先制する。一方、中村学園女子は#10打越のポストプレーで連続得点を重ねる。激しいディフェンスからの速い展開の攻防が続き、16-15で中村学園女子がリードで第1ピリオドは終了。第2ピリオド、中村学園女子は#10打越、#15橋詰の高さを生かしたオフェンスを展開し、精華女子は素早いパス回しからセットオフェンスを行う。中村学園女子#7瀬崎の好アシストや3Pもあり、41-29で中村学園女子がリードしたまま前半終了。第3ピリオド、精華女子は素晴らしいディフェンスを繰り広げ、中村学園女子を約6分間ノーゴールに押さえる。その間、精華女子は#6岡山の3P、#4金原、#9津野などの活躍により、43-39の4点差まで詰め寄った。ここでたまたま、中村学園女子はタイムアウト。オフェンスを立て直し、53-45で第3ピリオドを終了。第4ピリオド、精華女子は残り7分からオールコートマンツーマンを展開し、残り5分で55-51まで追い上げるが、中村学園女子#4川原のインサイドプレーなどで着実に得点を重ねる。結局、67-62で中村学園女子が2年ぶりの優勝を飾った。

主審 津田 博夫

副審 原田 拓朗

記入者 伊黒 智洋・瀬尾 雅彦